1967年11月25日
第41号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (2) 3131
編集　企画調査課

住民登録人口
（昭和42年10月31日現在）
総人口　27,701人
男　13,298人　女　14,403人
世帯数　5,932

県下一米つくり

10アール当り 785キロ

竹野町・山賀さん
多収穫は土つくり

県主催本年度米多収穫競作会に竹野町の山賀小七さん（四十歳）が、個人の部で県下一位に入賞、二十三日彌彦神社で行なわれた新穀感謝祭で表彰されました。

県の競作会に出品した品種は、フジミノリ（東北品種）で、十アール当りの収量が実に七百八十五キログラム（十三俵）。この収量は、県下で史上三番目の立派な成績です。

山賀小七さんは学校を卒業すると親の後を継ぎ農業に従事、既に米つくり二十年の実績をもつベテラン。経営規模は水田三・四ヘクタール、畑、二十三アール、山林二・五ヘクタールを経営する専業農家です。

米つくりの秘訣についてたずねると「別に秘訣はありません。ただ偶然にとれただけです。私の家は先祖代々から農家ですので、土地を大切にして一生懸命米つくりをやってきたのがここに実を結んだ。私の力だけではありません」と語った後「収量を多くとるには、第一に土地条件だと思う。いかによい農法でも土地条件が悪いとだめですね」と話してくれました。

しかし、偶然にとれたのでなくやはり、それなりの努力があったからなのです。

米つくりの基礎は土地の基盤整備だといわれていますが、山賀さんは田圃の土つくり、栽培管理を他の農家よりも熱心にやってきました。

多収穫田もそのよい例です。

以前は排水の悪い湿田で、代かきに耕耘機すら入らなかったとのことです。

そこで山賀さんは、まず土つくりからと山土などを何年も入れ客土を行ない、更に昭和三十五年には、深さ一・二メートルのところに土管暗渠を施設し、乾田化をはかりました。

暗渠をしてから排水がよくなり客土の効果があらわれました。

ここに植付けしたのがフジミノリ、ことしはじめての品種でもあるので、八十アールを作付けしました。

昨年までは、奨励品種の越路早生を主体に稲つくりを行なってきました。

播種は四月四日保温苗代に行ない発芽も順調、苗の出来はいつもよりよく、健苗を育成しました。

本田は十アール当り窒素六キログラム、りん酸九・九キログラム加里四・四キログラム施しました。

田植えは五月十四日に行ないました。

有効茎を早期に確保するために田植後一週間目に窒素一・四キログラムを追肥。また三・三平方メートル当りの株数を五十一株から五十五株に増やしました。

その後も六月二十八日に加里五・六キログラムを追肥。七月四日には穂肥に窒素二・六キログラムを施しました。

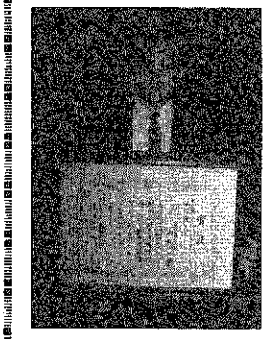
このような追肥を主力にした農法は、はじめての試みだけに心配しました。幸い天候にも恵まれ、稲の生育は順調に進み、良質米の確保ができました。

穂肥を行なった後、若干でき過ぎの傾向が見られましたが、たいした病害虫の被害もうけませんでした。ただ紋枯病の発生に伴い、徹底的に防除を行ないました。特に高温下の水管理と紋枯病対策にことしは殊めて水を切らさないように、水管理を行ないました。

収穫期に入り町競作会の坪刈りが行なわれました。坪刈りの結果は七百十六キログラム（三坪刈り）には、最高の七百九十九・四キログラムの立派な成績をあげ、県審査会に進出しました。

県の十坪刈りでは、見事七百八十五キログラムの史上三番目の多収穫を記録しました。

ことし作ったフジミノリは八十アールで百二俵、十アール当り平均十二俵半、峰岡農協に出荷した数は三百八十二俵とトップ、まさに県下一の米つくりにふさわしいものと思います。



表彰された山賀小七さん

巻町・岩室村　葬祭施設組合初会議
来年度完成めざし

巻町・岩室村葬祭施設組合の設立については、十月十日号にお知らせしましたところです。その後十一月十四日午後二時より巻町役場議場において第一回組合会議が開催されました。

巻町から遠藤七郎、鏑城弥三郎、高橋良平、有坂四郎、阿部信行、中野文作の各議員、岩室村から大越幸平、田島甚七、堀越信一、中村敬宇の各議員が出席して開かれました。

議長に大越幸平議員、副議長に中野文作議員を選んで議事をすすめました。

組合設立の場合必要な公告式条例、定例会条例など原案どおり決定しました。

今年度の予算は三十八万二千円と決まりました。

今年度は機種を決定し、設計を終わり明年度着工することになりました。

両町村の分担金の割合は、均等割三割、人口割七割に決まりました。

国定公園整備事業で
角田山登山 灯台コース新設

本町は角田山を中心に自然景観の海岸線、ゴルフ場、山ろく周辺の名所旧跡と数多くの観光資源に恵まれています。

特に角田山は標高四百八十一メートルで、山頂から広大な潟原平野と日本海の海岸景色や佐渡が一望でき、その自然景観はすばらしく、ハイキングに最適の地です。

地理的条件は新潟都市の新潟に隣接し、さらに近隣には長岡、加茂、白根、三条、燕市があり、レジャーブームにともなって、日帰りコースで訪れる客数が年々増えてきています。

そこで町では、角田山登山道路を早急に整備することを計画、検討が行なわれました。

本年度は国定公園整備事業で事業費二百万円（国・県各百万円）で登山道路を整備することになり今月から工事が始まりました。

新設される登山道路は、角田埼灯台から山頂までの灯台コース三千メートルと鳥越峠から小瀬までの四百七十メートル。両コースとも幅員一メートルで来年の三月に完成します。

巻病院急患に備え
医師住宅をつくる

町立国民健康保険病院では医師住宅を一棟建設します。

最近、交通事故などの発生が増加しております。かも、そのほとんどが人身に被害を受けています。

また、昨年の六月に日赤から消防署に救急車が配置され、交通事故や急患の発生に出動、活躍しています。

そのため夜間でも救急車に運ばれてくる急患が増加し、すぐ手術や応急手当をしなければならない現状です。

これらの緊急事態の発生に対処できる体勢を整えるために、医師住宅を建設することになりました。

建設される住宅は木造瓦葺平家建てで、床面積は六十三・七六平方メートル（約十九・三坪）付属小屋六・六二平方メートル。延面積は七十・三八平方メートルです。

総建設費は百八十九万円で、財源の内訳は、国庫補助金三十六万円、起債七十三万四千円、残りの七十九万円が自己資金です。

工事は吉田組が請負い、すでに着工しており、来年の二月上旬に完成します。

渇水時の節水
呼びかけも
スピーカーつき自動車を購入

巻町の水道では、十月三十日に新しい自動車を購入しました。

これは、いままでの自動車が八年間も使って、いたんがひどいためです。

新しい自動車は、ホーマー・ダブルキャブという車です。人が六人乗れて荷物も相当積むことが出来ます。価格は六十万円です。

水道では、この車に断水時などの広報用にスピーカーを取りつけました。

担当課では「より効率的に仕事が出来ると張りきっています。新しく購入した自動車

巻町消防署
12月5日
油火災消火訓練
巻高校裏で・ぜひ見学を

巻町消防署では明二十六日から十二月二日まで実施される火災予防週間に行事の一環として、油火災に備え消火訓練を一般町民に公開します。

冬季間は各家庭においても石油ストーブ、石油コンロなど油を使った暖房器具が使われます。

今までの統計では、油による火災もかなり多く発生しています。

万一に備えて、この機会に是非油火災の消火方法を見ていただきたいと思います。

◎日時　十二月二日午後一時―三時まで。

◎場所　県立巻高等学校の裏手、もとの花火工場敷地。

なお、当日はそれぞれ違った消火方法で三回行ないます。

第一回　消火器を使って消火

石油ストーブ及び天ぷら油鍋によって火災が発生したときの消火方法。

第二回　消防ポンプの水噴霧で消火。

油貯蔵庫などから油が流出して火災が発生したときの消火方法。

第三回

消防ポンプにラインプロポーショナー（管路調合器）を取り付けエアーホーム原液を使って消火します。

消火訓練のときは、煙が高く上りますのでご承知ください。

巻町豚共進会終る

種豚の部　1位　倉沢弥須栄さん

肉豚の部　1位　伊藤藤三郎さん

第七回豚共進会が十三日巻町農業振興協議会、巻町主催で開かれました。

豚共進会には、各農協において予備審査をパスした種豚十二頭、肉豚十一頭が参加、それぞれの部門によって審査が行なわれ、次のとおり入賞者が決まりました。

▽第一部（種豚）経産

一位　該当なし、二位　中沢敬峰岡（福木岡農協）、三位　藤田正二舟戸（福木岡農協）

▽（種豚）未経産

一位　倉沢弥須栄　仁籠（峰岡農協）、二位斎藤新太郎　布目（峰岡農協）、三位　柳沢一郎　松山新田（松野尾農協）、小出多源太松野尾（松野尾農協）

▽第二部（肉豚）

一位　伊藤藤三郎　鏑城（漆山農協）、二位　阿部正二　竹野町（峰岡農協）、三位　鏑城弥栄　仁籠（峰岡農協）、山賀欣也　松野尾（松野尾農協）、小杉五郎　越前浜（角田農協）、伊藤藤三郎馬堀（漆山農協）（敬称略）

戦没者の父母に
特別給付金十万円支給

戦没者の父母に特別給付金が支給されます。

特別給付金の支給対象は、昭和十二年七月七日以後公務上負傷し又は病気にかかり死亡した者の父母又は祖父母で、昭和四十二年四月一日現在において、次の各号に掲げる給付を受ける権利又は資格を有している者で、死亡した者の死亡当時他に子も孫もいなかった者に支給されます。

一、旧軍人、旧準軍人、又は旧軍属の公務扶助料、二、特例扶助料、三、遺族年金、四、特例遺族年金、五、遺族給与金、六、もとの陸軍又は海軍の軍備人等にかかる旧令または各省共済死亡年金の受給資格があるもの。

◇特別給付金の額及び国債

特別給付金の額は十万円で、五年以内に償還すべき無利子の記名国債を交付します。

◇特別給付金を受ける権利の受権者

特別給付金を受ける権利を有する者が死亡した場合は、相続人の名で死亡した場合は、相続人の特別給付金を請求できます。

◇特別給付金を受ける権利の順位

特別給付金を受ける権利を有する者が複数の場合は、次の順序によります。

一、死亡した者と生計関係を有した父母。

二、一以外の父母。

三、死亡した者と生計関係を有した祖父母。

四、三以外の祖父母。

なお、同順位の父母については養父母が優先する。祖父母については、養父母の父母が優先し、実父母の父母が後の順位になります

議会の動き

十一月二十四日　厚生水道委員協議会

十一月二十七日　産業経済委員協議会

十一月二十九日　臨時議会

生存者叙勲

火消し四十年の功労

中野さん（八区）勲六等受章

国では、十一月三日生存者秋の叙勲を発表しました。

この中に巻町からただひとり、中野二太郎さん（八区）が、消防関係の功労が認められ勲六等単光旭日章を受章しました。

中野さんは十三日、東京の消防庁で長官から勲章の伝達を受け、そのの ち皇居におもむき、天皇陛下から労をねぎらう、お言葉を賜わりました。

大正三年巻町消防手をふり出しに昭和二十九年巻町消防団副団長兼常備部長を最後に、第一線を退くまでの四十年間、町を火災から守るために働いてこられました。

なお、この間に県知事、県消防協会などから表彰を受けています。

地道な苦労が実っただけに中野さんは、感慨無量の様子で次のように語りました。「身にあまる光栄に浴し、長年の苦労がむくわれた気持ちでいっぱいだ。これからも一町民として火災のない町に努力したい。」

勲6等単光旭日章を胸によろこびの中野さん

恵まれない人にも暖かいお正月を

「みんな　そろって　明るい　お正月を」

"歳末たすけあい運動"が、十二月一日から一カ月間くり広げられます。これは、忘まれない人びとに対して、暖かいお正月を迎えてもらおうと、歳末に金品を困窮者に贈る運動で、地域住民の自発的な運動として始まったものです。

経済の成長はめざましいものがありますが、一方では国民各層間の所得格差はますます拡大し、低所得者の生活は、いよいよきびしさを増すなど、経済成長のひずみが問題となっています。またこれら生活困窮者だけでなく、冷害のため収穫皆無の農家、風水害など不慮の災害で家や田畑をなくした人など、気の毒な人たちがたくさんいます。

これらの人たちにも、みんなそろって暖かいお正月が迎えられるよう、おもいやりとたすけあいの気持をもって協力し、お互いのしあわせを高めたいものです。

町が生んだ文人

双書「館柳湾」刊行

館柳湾は宝暦12年（一〇五年前）新潟市に生まれ、幼なくして両親に死別し、父親の実家である巻の館源（現当主館鉄馬氏）に養育され、長じて江戸に出て幕府の役人となった。かたわら詩賦、読書を楽しみ、当代の著名な詩人と交遊し、退官後はもっぱら文墨生活にはいり、一柳湾漁唱」外多くの著書があります。天保15年八十三歳の高令で没したが、後世、永井荷風、柳田国男らによって愛誦され、高く評価されました。

著者渡辺秀英先生は現在県立新潟高校に奉職し、金石文、良寛などの研究家として広く知られている方であります。既刊の巻町双書とともにご愛蔵ください。

なお、実費五〇〇円（ほかに郵送料七十円）でおわけいたしますので巻町役場経済課にご照会ください。

くらしのメモ

ことしのこよみも最後のページ、一段と寒くなり冬将軍が、かけ足でやって来ます。

寒さに負けず、健康な体で忙しい歳末を乗り切り、来る年への飛躍にしたいものです。

今月のこよみは……

一日　歳末たすけあい運動始まる。

二日　化学消火演習会（巻高校裏手）

四日　体力づくり運動普及キャラバン隊来町。人権週間始まる。

十日　町民卓球大会

十六日　クリスマス・イブ

二十三日　官庁ご用納め

二十四日　大みそか

二十八日　町民民謡大会

三十一日　皇太子誕生日

○水道の防寒対策

水道や井戸は、氷点下一度ぐらいでは、凍ることはありませんが氷点下三度以下になると凍結する場合があります。

凍結するところは、地中からじゃ口までの部分ですから、早いうちに、わらかぼろきれをよく巻きつけておきましょう。

○太りすぎに適度な運動を

寒さがきびしくなると、とかく家の中にこもりがちになります。太りすぎは体質的なものもありますが、最大の原因は栄養過多と運動不足です。とくに、最近の生活の合理化、機械化にともなって、手足を動かすことが少なくなり、ますますこの太りすぎ傾向に拍車をかける結果となっております。

この太りすぎを防止するため規則正しい、適度の運動をおすすめします。「歩く」こともたいへんよい運動ですが、ただぶらぶらと歩くのでなくて、ある一定の早さをともなった歩き方でないと効果があがりません。つまり、運動の質と量、強さ、回数、期間などを十分考えて、規則正しく行なわないと効果がないものです。

体力づくりキャラバン隊

壮年の体力をテスト

「体力づくり運動地区」に指定されている当町に十二月四日体力づくり運動普及キャラバン隊が導ねます。

キャラバン隊は、地域住民に体力づくり運動実践の意欲を高め、健康思想を啓発するため各地を巡回し、保健栄養の改善、体育レクリエーションについての講演を聞き、つづいて体力の定義と実践では簡単なスポーツテストを行ない、その結果に基づいて、個人別の体力づくりの相談にあたることになっています。

今回は運動不足ぎみになる三十歳台の壮年を対象としています。希望者は十二月四日午前九時までに町公民館にご集合ください。

交通安全作文

入選者決まる

巻地区交通安全協会巻支部では秋の全国交通安全運動の一環として、巻小、中学校の児童、生徒から交通安全についての作文を募集しました。

これは全校の児童、生徒が作文を書くことによって交通安全の意識を高めることを目的に行なわれました。

全作品の中から次の十八点を入選作品としました。（敬称略）

小学校の部

浜田夫美子（二年）、土田仁、渡辺良松、五十嵐恒一、早川ひろみ（以上三年）、小林久美子（四年）、三国和子、桑原純子、上原智恵子、小出優子、佐藤由美子（以上五年）、簑林洋（六年）

中学校の部

西山香子、阿部鶴子（以上一年）、渡辺民子、五十嵐修（以上二年）、塚原淑子、桑原文子（以上三年）

町民卓球大会

チャンピオンは誰？

第五回町民卓球大会を次の要項で開催いたしますので、こぞって参加くださるようお願いいたします。

○日　時　十二月十日（日）午前九時試合開始（出場選手は八時三十分まで会場に集合のこと）

○会　場　巻小学校体育館

○参加資格　巻町に在住する中学生以上（中学生も含む）の一般町民であること。

○試合方法　①男女別個人トーナメント②準々決勝まで11点二セット先取、準決勝より21点二セット先取を勝ちとする。

○申し込み締め切り　十二月四日午後五時までに、巻町公民館、丸宰スポーツ店に申し込むこと。

○組合わせ　主催者側に一任のこと。その他①試合時間に遅れたもの②中食は各人で用意のこと。

入徳館小に真心の水道

"ありがとう"小熊さん、高井さん

十一月十八日午前十一時から入徳館小学校において、高野助役、渡辺教育長、有坂厚生水道委員長および関係部落長らが集まり、盛大な感謝状贈呈式が行なわれました。

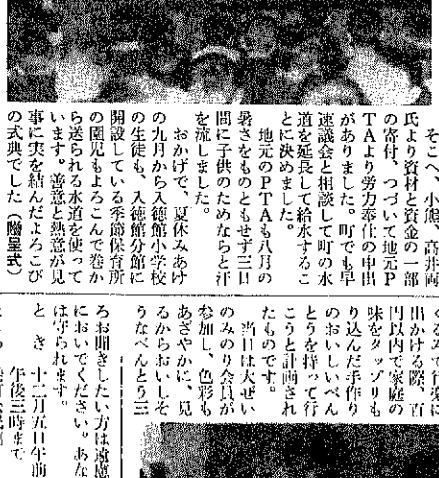
当日は、母校のため私財を寄付された東京都の小熊藤蔵氏、川口市の高井三次郎氏、八月の炎天下三日間に亘り労力奉仕をした同校PTAに巻町教育委員会よりそれぞれ感謝状が贈られました。

入徳館小学校と入徳館分館の飲料水は井戸水に頼っていましたが水質が良くないうえ、八月頃に晴天が続くと水不足に困っていました。このため、地元では長い間いろいろと考えて来ました。

そこへ、小熊、高井両氏より資材と資金の一部の寄付、つづいて地元PTAより労力奉仕の申出がありました。町でも早速議会と相談して町の水道を延長して給水することに決めました。

地元のPTAも八月の暑さをものともせず三日間に子供のためならと汗を流しました。

おかげで、夏休みあけの九月から入徳館小学校の生徒も、入徳館分館に開設している季節保育所の園児もよろこんで巻から送られる水道を使っています。善意と熱意が見事に実を結んだよろこびの式典でした。（贈呈式）



お知らせ

家事相談会

12月5日公民館で

巻町、岩室村、新潟地区調停協会の主催で、無料家事相談会を開きます。

夫婦間のなやみごと、男女間のもめごと、親子の問題、相続、扶養、遺言その他家庭内のいろいろの問題について、無料に相談に応じますから、お困りの方やいろいろお聞きしたい方は遠慮なく気軽においでください。あなたの秘密は守られます。

と　き　十二月五日午前十時より午後三時まで

ところ　巻町公民館

トランプ類の販売は

税務署に届け出を

年末、年始には、トランプ、花札、マージャンなどの需要が多くなります。これらのトランプ類をお客に販売しようとするときは所轄の税務署長に営業開始申告書を提出しなければならないことになっています。

申告の手続きなどについて不明の点は、税務署に照会してください。（巻税務署）

天神町にバス運行

通勤者は大喜び

天神町に十二月一日から朝、夕一回バスが運転されます。

町では住宅難の緩和をはかるために、昭和三十五、六年の二カ年計画で、天神町に町営住宅四十戸を建設しました。ここに入居している人は勤め人が多く、間手橋まで歩いてバスに乗って通勤するため不便を感じ、天神町、下本島部落から、バスの乗り入れが要望されていました。

今回、地元民の要望が入れられ一日から天神町発朝七時三十五分夕方六時五十分の二本が運転されることになり、通勤者から大変喜ばれています。

べんとう展示会――みのり会

思わず生つばをゴクリ

みのり会は、十一月十日巻農協を会場に"わが家の自慢栄養べんとう"をもより展示会を行ないました。

この催しは農休日などに家族ぐるみで行楽に出かける際、百円以内で家庭の味をタップリもり込んだ手作りのおいしいべんとうを持って行こうと計画されたものです。

当日は大せいのみのり会員が参加し、色彩もあざやかに、見るからおいしそうなべんとう三十九点が出品され、子ども向き、成人向き、老人向き、スピード、アイデアの部門別で優秀さを競い合いました。

巻地区農業改良普及所佐藤、高渡さんから短時間、経費が制限内、食品のバランス、盛りつけ、などを重点に、出品されたべんとうの審査を受けました。終わって佐藤普及員は「みなさん若い心しているだけに、べんとう屋さん顔負けの出来ばえでした。」と語っています。（出品されたべんとう）

今月であなたは70歳

老齢福祉年金に該当します

あなたは今月の誕生日で満七十歳になられ老齢福祉年金を請求する資格を得られましたので役場国民年金係に問い合わせてください。

明治三十年十一月生まれの方が該当します。（敬称略）

一区　金子善太郎
一区　瀬戸藤平
三区　西村庄次
小林小七
池上為五郎
五区　野沢六平
十二区　東泳上
佐藤昌三
有坂太郎
仁嶋
山本コイ
下組　山本才二郎
角田浜　本間寅平
角田浜　山本ルイ
越前浜　早見トヨ
四ツ郷屋　外山仲市
（厚生課年金係）